

令和7年度 FD・SD 研修会 報告書



2026.4 発行

ユマニテク短期大学

前期FD研修会

◆日程:令和7年9月16日(火)13:30~15:00

◆参加者:ユマニテク短期大学教職員

◆開催方法:対面

◆研修内容

テーマ:「PROG」の結果をもとにした今後の本学の指導体制に関する研修

目的:本学教職員の教育力向上のため、本学の課題について考え、それらを共有することで、個々の抱える課題を明確化し、本学の教育活動の充実に結び付けることを目的とする。

講師:徳増全矢 教授

グループワークあり

◆リフレクションシートより

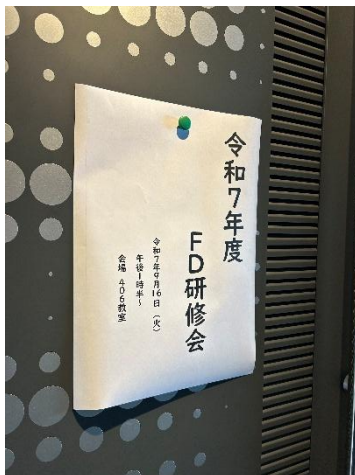


・PROG テストの結果から1年生の資質・能力を知ることができ、今後の学生対応へのヒントを得ることができました。今回の研修をきっかけに全教職員が学生の強みと弱みを理解し、学生支援につなげていけることができればと思います。

・データにもとづいて、現状の把握と今後どうしていくべきかを話し合うことができ、非常に有意義だったと思います。

・PROGの客観的データに基づき、教員・職員など異なる立場からの多様な視点を知ることができました。学生理解を深め、効果的な支援を行うためには、部署を超えた「教職協働」が不可欠であると改めて実感しました。大変有意義な研修でした。

(一部抜粋)



後期SD研修会

◆日程:令和8年2月17日(火)11:00~12:30

◆参加者:ユマニテック短期大学教職員

◆開催方法:対面

◆研修内容

テーマ:「未来のキャンパスを救え」

内容:Microsoft Teams を活用した「防災ロゲイニング」形式での研修

主催:ユマニテック短期大学 防災委員会・教務委員会

目的:本学教職員の防災意識および実務対応能力の向上を目的とする。具体的には、Teams を活用した連携訓練を通じて組織的な情報共有スキルを高めるとともに、学内の防災設備の配置や使用方法を再確認し、災害時に即座に動ける実践力を養うこととする。

◆リフレクションシートより

・消火器や消火栓、防火扉の仕組みなど、どれも重要で、とても勉強になりました。

実際に現場を歩いて確認することで理解が深まり、知識としてもしっかりと定着したと思います。

・従来の座学形式とは異なり、教職協働の混成チームでキャンパス内を探索することで、AED や消火栓の位置を「知識」としてだけでなく「体験」として記憶に残すことができました。

特に印象的だったのは、チェックポイントでの写真撮影や Teams への投稿を通じて、教職員同士が自然と協力し合い、笑顔でコミュニケーションを取っていた姿です。災害時には情報の共有とチームワークが不可欠ですが、今回の研修はその土台作りとして有効であったと感じました。

・チームで考えながらの研修、とても勉強になりました。本学の防災面の点検にもなり、とても有効であったと思います。

(一部抜粋)

